学校番号	211

令和８年度　理科（化学基礎演習）

教科	理科	科目	化学基礎演習	単位数	2 単位	年次	3 年次
使用教科書	*i* 版　化学基礎（新興出版社啓林館）						
副教材等	ESSENCE NOTE　化学基礎　（啓林館出版） フォローアップドリル化学基礎③						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

日常生活の中で起こるさまざまな自然現象に興味をもち，その法則性について考える態度を持つこと，疑問に思ったことを確かめてみようという態度を持つこと，学んだことを正確に記録する方法と態度を身につけること。

2　学習の到達目標

日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化への関心を高め，目的意識を持って観察，実験などを行い，化学的に探求する能力と態度を身につける。また，化学の基本的な概念や原理・法則を理解し，科学的な見方や考え方を養う。
2 年次「化学基礎」の授業内容を補充・発展させ、中和と酸化還元を終了後は「化学基礎」全体を通して学習する。

3　学習評価（評価基準と評価方法）

観点	a 知識・技能	b 思考･判断･表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	物質の構造や変化について、基本的な概念や原理・法則を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。	物質の変化に関する事物・現象の中に問題を見いだし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	日常生活や社会との関連を図りながら物質の構造とその量的関係について関心をもち、意欲的に探究しようとするとともに、科学的な見方や考え方を身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に 5 段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	物質の変化	酸と塩基 酸化還元反応 化学反応式 物質量	a: 中和、酸化還元について理解し、知識を身につけている。 b: 物質量と化学反応の関係性を見出して表現している。 c: 酸化還元反応について関心を持ち、主体的に探求しようとしている。	テスト ワークシート	テスト レポート	ノート レポート 発表
2学期	物質と化学結合	イオン結合 共有結合 分子間力 金属結合 物質の分類	a: 化学結合や物質の変化について日常と関連づけて理解し、知識を身につけている。 b: 化学反応の量的関係と物質量の関係について考察し、規則性や関係性を見出して表現している。 c: 化学結合や物質の変化について関心をもち、化学結合の違いが物質の性質とどうかかわるかを主体的に探究しようとする。	テスト ワークシート	テスト レポート	ノート レポート 発表
3学期	物質の構成	物質の探究 物質の構成粒子				

※表中の観点について

a:知識・技能　　b:思考･判断･表現　c:主体的に学習に取り組む態度